

[illegible]

賦得田家早春

王曆改端，揚瑞霞於赤城，起祥雲於丹宮。古人有句云：人心隨歲改，世事逐時新。送舊迎新，雖屬尋常儀禮，履端正始，亦社會心理之幾微也。惟歐亂既熾，平和未來，全世界之盤渦瀾，猶滔々有懷閭襄陵之勢。乃去年問題，遂爲今年問題，解決一在吾人努力如何。大正九年前途，亦多事哉。願與歲共新之，使世界人類多福。聊寓微意於新春勸題，爲迎新第一聲。山南水北野人家。竹外天寒帶雪斜。冷蕊疎枝清
名許。春風第一避紛華。

小橋時見騎驢人。爲有梅花早報春。野徑風寒冰
不泮。乾坤獨立見精神。

幽姿何必在瑤臺。雪裏香魂破臘回。休問他時調
曲事。開春便作百花魁。

惟日孜孜與魚敢逸豫

大正庚申一月為京城日報 鼻水電

説明し、五國諸新聞は該決定を以て重大の意味をさせり（倫敦電報）

せり(北京)電話

七月 佐加行啓
香港より上海に著せり



▼澤之鶴を召せよ!!

江見水落

A grainy, black and white photograph of two men sitting at a table. The man on the left is wearing a dark jacket and looking towards the camera. The man on the right is wearing a light-colored shirt and looking away. A glass and some papers are on the table.

川柳
「題」 ストライキ

一 等 龍山漢江通二三 羽間十の字
解決が付くミ物價が亦騰り
二 等 永登浦藩町 富田麓園子
園基新局(六)

初めて來恒
は馴れて來の

初めて來頃から昇る三、四層は馴れて來ので、散て酔漢に抗はなかつた。

「何ですか。そんなに、本氣成つて？」と冷やかす漢な口で云つた。

彈次も少しやわらぎを見せず、「實は、聴きたい事が有るんまア椅子に掛けて呉んねわ。」

[illegible]

電話八七三
櫻井町
大正
下活動寫眞會社代理店

女間諜 金屋藏嬌
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演

喜樂館
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演

漫遊記
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演

新血脈
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演

黃金館
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演

社員募集廣告
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演

楠田商事部
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演
 本邦第一の女優・山田五十鈴主演

[illegible]

鮮魚料理 青

[illegible]

其

歳首祭晴の御膳拜賀

四方の海原音もなく曉の雞の壽祝ふ初聲と
共に世は新玉の春まはなりぬ年毎の御恒例
とて柵引き渡る紫雲の奥深く九重の宮居に
ては今日しも四方拜の御儀を行はせ給ふ

雲雲未だ色澤する午前四時、御齋
 殿の御座に於て設けられたる皇
 上は東園興典天皇以下、諸皇に
 上り、御座より、葵御殿に於けら
 れ、皇座の中央には寶鏡、数枚御座
 威儀を御過りし中に玉座をし
 つら、御座に玉座を供して、葵
 の御座に待らせ奉る、初日の光
 將に御出立するに間にあは
 せ、五十五分、三十分、二十分、

六花様の菊花の帷幕を敷懸らし
 御殿の歩、御座なく、整へば、戸門式
 長官以下、の式部職は、一、御座
 何れも肅然として威儀を奏す、折
 か、芝蔴、以下、御座の案す、幾
 貴いこと、御座に、共に

賢所皇靈殿神殿
 の扉は餘ろに開

神饌漸次撤せら
 れ、戸門式長官以下、式部
 一、御座に、退出す、ぞ、御座
 歳前、御座、典なり、深て更に
 の色い入、渡ゆけり、松の樹
 さし昇る、初、の影の、知てい
 へ、御座に、現す、時、三十
 二、なるや、撤下、は、皇、皇、下、

[illegible][illegible]

東宮御所

[illegible]

御賢德

畏し

御賢徳

宮内大臣議

皇太后下、御賢徳聖は、
世人の仰ぎ奉りて、謝賀の儀を
是る次第なるが故に、今午は
下の御宇支に相預し給ひ
出度き元旦日と申すべし
も陛下には九條公の御賢徳
も陛下に御年中の賀は
九條家に在り。

御賢徳あらせられ、御性體
より申し上り入内し七王
同士の衆母と仰が給ひ、
同様の御衣を賜へ給ふ。
上の御方は日長、其子
共共の御一書を奉る。

さゆ御聰明には、一向口實
なく能はざる處であらんと
し、且つ順たる下情傳へ
其の新しき御賀敬曲の

門せられし十時山縣松方
大卿糖の各々御賀儀にて
大園孝太臣親の親吉公使從一
位副二階及び一等左衛門從一
位大宰府醫官藤原朝綱等、候間
武二人の拜賀を受けさせられ、午後
一時よりは御物成を賀儀より
三等官奏任結連の賀を受けさ
せらる。

第二百一

皇國陛下には前日同殿宣旨御所
に於て二日午前十一時十分より
拜賀を受けるせむ。又、伯耆從
二位勳二等左近正親衛門
兼備後河內守夫人八重以下
九等官以上奏任結連の神祇祓下
五以下六位以下四位以下五位
六等以下門部寺院作職參贊を
受けるせられ午後十二時三十分
より十七位以下は動上以下の
賀を受けさせらる。御主上、王
の子供お下には、年頭の重吉を、平
降に至り各自自賀ありませらる
べし。(東京支局)

幼少に在^にて
御下問の
あらせら
折^をらぬ者
御前

[illegible]

五月二十五日
閑宮へ御

心子殿下

せられ御病の折
縁ゆゑ各公に公々
の宮を御訪
時と雖も御訪
波をなれずす
實に又意外の
朝に似て御
御に寄る
御病の數は
幸りては憂
ますますいふ
人變ありけれ

古今人に詠ましし
猿曳の句

年々や線に著したる猿の面
猿曳の村へ來たるよ呼子規波
境馬を親類と思ふ夜もあるん
馬は小若く此られて御人の邊
境曳は若き抱きし御人の邊
物思へば遠より庵せて工堀し
安海や竹馬馳せて成りけり
安海の赤い旗巾や比喩し
竹馬を赤いて迎ふを驚かし
竹馬を弄りにて猿曳を驚かし
猿曳の波瀬待つ間を細はせ汝
猿曳を見に竹馬で走りけり
本郷の道外や御衆を興さ
猿曳千門に竹馬城
猿曳は小さく謀は雨に城
狐の頭飛び跳す小狼が夫
松の間の大御立や越後郎

竹たけの園その生ぶの御おん榮さかに
彌い増ましに榮さかにましつ

の色長へに染めたる竹のせ給ひ明治十二年女
 生年一むかしはもと本年の範岐院附屬幼稚園に入
 文申當らせ給ふ御方々
 高き御書を仰ぎ奉りて
 なき御書なれ奉り
 元永(支局)

皇后宮

人
 元日に其
 あり重毛、錦織、豊織、
 華族女學
 十九年九
 年癸卯三
 卒業翌三
 であらせ
 七千七百
 させ給ふ
 御覽あせ
 即行駕車
 ありて工
 に節、あ
 に文、あ
 せられ之
 中春秋二
 間の行成
 帝の行幸
 御下、下
 には千五
 陛下には
 あり重毛、錦織、豊織、

子内親王殿下

[illegible]

下には敷島の道と丹波の

殿下には、田原市に御在座中
 のこと、日曜日の御邸に過
 ぬ御座り、御座る御邸に過
 の邸は、御邸の御邸に過
 感なく、御邸の御邸に過
 下に、御邸の御邸に過
 御清みあらせら
 れる、御邸の御邸に過
 れる、御邸の御邸に過
 され、御邸の御邸に過
 版正臣氏をて、御邸の御邸に過
 てる、御邸の御邸に過
 御邸の御邸に過
 は、御邸の御邸に過
 持たせられて、

らぬ吾等さへも恐懼措く
外國人に、安見あらせられ

[illegible]

國に賜らせらるゝ寛子女
 三十二歳におはせらるゝ
 下之御二方（山）で（カ）若

[illegible]

朝鮮總督
齋藤實

念とし給ふ畏き一視同仁の
慮に對し奉り、又朝鮮人ニ

は、内外の事情に順應して、更新の時明かされたが、予は

平和の大局に於て、自覺なく政治上の制度及び施設に於て、

共に、一般民衆をして亦能く制

たいと思ふ。故に余は施政の第一、善手として、就仕の初め、紳

青申（あしん）の故玉（こぎよ）を

図り、行政處分の如きも、亦

野田遞相試筆

7
10

の社會に之を
義の政治を所
りて公要なる

京城醫師會

城南大門通丁目

京城出張所

電話四九〇番

京成魚市場

魚市場

京城運送業組合

京城電氣株式會社

滿洲殖產株式會社

三井物産株式會社



新年の劈頭に當り

日本の國策を宣す

平時は工業立國、戰時は國民皆兵
法學博士 添田壽一氏談

歐洲大戰は、我が國の對外政策に對する重大なる影響を與へた。我が國は、戰前に對しては、工業立國の地位を確立し、戰時には國民皆兵の精神を發揮し、世界の平和を維持するに努むべきである。我が國の對外政策は、平時は工業立國、戰時は國民皆兵の精神を發揮し、世界の平和を維持するに努むべきである。

大陸の内地

我が國の對外政策は、大陸の内地に對する影響を與へた。我が國は、戰前に對しては、大陸の内地に對する影響を與へた。我が國は、戰前に對しては、大陸の内地に對する影響を與へた。

本年満鐵新事業

満鐵の對外政策は、本年に對する影響を與へた。満鐵は、本年に對しては、對外政策を發揮し、世界の平和を維持するに努むべきである。

斯くの如き

我が國の對外政策は、斯くの如き影響を與へた。我が國は、戰前に對しては、對外政策を發揮し、世界の平和を維持するに努むべきである。

朝鮮から滿洲への移住を歓迎

我が國の對外政策は、朝鮮から滿洲への移住を歓迎する。我が國は、戦前に對しては、朝鮮から滿洲への移住を歓迎する。

土地成金

我が國の對外政策は、土地成金に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、土地成金に對する影響を與へた。

經濟問題が

我が國の對外政策は、經濟問題に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、經濟問題に對する影響を與へた。

勢力地方には

我が國の對外政策は、勢力地方に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、勢力地方に對する影響を與へた。

順應する事能は

我が國の對外政策は、順應する事能は影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、順應する事能は影響を與へた。

日本銀行の

我が國の對外政策は、日本銀行に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、日本銀行に對する影響を與へた。

日本銀行の

我が國の對外政策は、日本銀行に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、日本銀行に對する影響を與へた。

日本銀行の

我が國の對外政策は、日本銀行に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、日本銀行に對する影響を與へた。

日本銀行の

我が國の對外政策は、日本銀行に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、日本銀行に對する影響を與へた。

日本銀行の

我が國の對外政策は、日本銀行に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、日本銀行に對する影響を與へた。

日本銀行の

我が國の對外政策は、日本銀行に對する影響を與へた。我が國は、戦前に對しては、日本銀行に對する影響を與へた。

謹賀新年
朝鮮製藥合資會社
(番九〇參一話電)町川谷長城京

謹賀新年
島屋本店
京坂南門通三丁目
電話九三〇番

謹賀新年
石炭 泉商會
京坂南門通三丁目
電話二九〇番

謹賀新年
越田電氣會
目丁一町本坡京
番〇三、四一話電

謹賀新年
明治生命保險株式會社
京坂南門通三丁目
電話九三〇番

謹賀新年
東産社
京坂南門通三丁目
電話一三三番

謹賀新年
城日の丸水産株式會社
京坂南門通三丁目
電話一〇八番

謹賀新年
播本商店
京坂南門通三丁目
電話二一〇番

謹賀新年
東京建物株式會社
京坂南門通三丁目
電話一六八番

謹賀新年
東京火災保險株式會社
京坂南門通三丁目
電話一〇六番

謹賀新年
中村再造
京坂南門通三丁目
電話三六五番

謹賀新年
東洋畜産株式會社
京坂南門通三丁目
電話五六七番

謹賀新年
宏濟證券株式會社
大連市羽前町壹號地
電話二九七番、二四七〇番

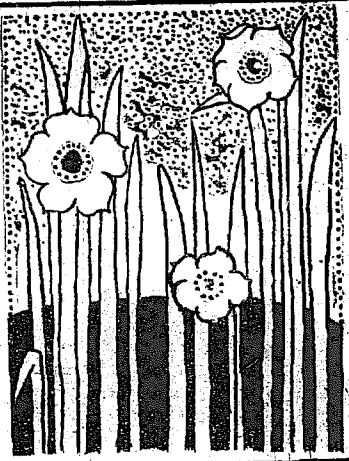
謹賀新年
傘組大郎製絲所
片倉組大郎製絲所
朝鮮製絲株式會社

謹賀新年
不二全北農場
不二西鮮農場
不二興業株式會社

本金 叁百萬圓
 立金 貳百萬圓
 立金 拾四萬八千圓
 連市軍用地一區 聽地

大連取引所
 信託株式會社

三十七



本年の朝鮮財界

事業界の発展と民衆の生活... 朝鮮の経済状況と今後の展望について詳しく解説。

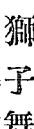
山桜花 マヒルノ 朝日に... 文芸作品や社会評論の掲載欄。

大興電氣株式會社	今組龍山支店	朝鮮製綿株式會社	進和商會支店	龍山倉庫金融會社	共保生命保險會社	京城ホテル	朝鮮實業株式會社	中島商店支店	富田太郎屋	特許製造株式會社
大興電氣株式會社	今組龍山支店	朝鮮製綿株式會社	進和商會支店	龍山倉庫金融會社	共保生命保險會社	京城ホテル	朝鮮實業株式會社	中島商店支店	富田太郎屋	特許製造株式會社

大連市船務株式會社	安部幸兵衛	川崎造船所	新義州木材株式會社	日進堂
大連市船務株式會社	安部幸兵衛	川崎造船所	新義州木材株式會社	日進堂

恭賀新年 鴨綠江探本公司	恭賀新年 京城酒商組合	恭賀新年 大連出張所
鴨綠江探本公司	京城酒商組合	大連出張所

北島春石

[illegible]

子の面が慥々奴の睨て大き
をバクリと開く。……

馬車組合事務所

電話三三三番
京城資金町
電話七二一番
淺沼洋眼店

廠林營府督總鮮朝

電話三三番
京城黃金町
電話七二番
淺沼洋眼店

京 城 長 谷 三 五 町	京 城 金 町 一 三 番	京 城 本 町 三 三 番	京 城 通 路 一 五 七 番	京 城 本 町 四 五 三 番	京 城 明 治 七 九 七 番	京 城 永 樂 六 一 六 番	京 城 本 町 二 六 二 番	京 城 南 大 門 邊 一 四 番	京 城 通 路 一 四 四 番	京 城 本 町 一 四 八 番
麥 川 洋 服 店	淺 沼 洋 服 店	遠 藤 洋 服 店	土 谷 洋 服 店	吉 田 洋 服 店	關 越 田 吉 岡 洋 服 店	奧 田 洋 服 店	大 屋 洋 服 店	丁 子 屋 綿 紗 服 店	濱 洋 服 店	花 本 洋 服 店

題はろい



大邸
松前商店
倉庫部
支店所在地
京城(釜山)金泉

大邸
綵棉工場

業築建木土龍京
(順ハロイ)
盛志阿荒松鹿北堀西間
陽岐川井本嶋陸土木内本
社組組組組組社組組組

京濱岡崎町
三幸洋行
電話長八〇〇番

朝鮮銀行大邸支店
殖産銀行大邸支店
株式會社鮮南銀行
株式會社大邸銀行
東拓大邸出張所

簡卸貨雜外内
社會資合
店支城京店商植玉
目丁二通門人南城京
番二五二話電
◎里外川仁店本◎

社會式株業興鮮朝
所理管山慶

京城本町一丁目
株式會社大澤商會京城支店
會計部 長電話二六二番
寫真部 長電話三三九番
自費部 長電話四八〇番
振替二三一番
社長 大澤德太郎
京城支店長 眞木仙次郎

大邸釀造株式會社
專務取締役 寺田善作
社長 李柄學

業米精・炭薪・穀米
町上府邸大
會商
番八二八話電
大邸
社會式株菜魚

京本町二丁目電話長二番五〇七番
京本町二丁目電話一五番七一九番
京本町二丁目電話六四九番七三三番
京本町二丁目電話三五番二六六番
京本町二丁目電話二三五〇番
京濱岡崎町二丁目電話一五番
原金旅館
清光旅館
山本旅館
天眞樓
不知火旅館
巴城館

町岡里南府邸大
大邸松橋太
大邸府元町
伊藤吳服店
電話一五七番

京城鐵路
東洋物產株式會社
龍山鐵道病院

唯一の朝鮮鮮料理
京城府元町 明月館 電話二五四番
京城府東區 長春館 電話八六三番
京城府東區 奉春館 電話七二九番
京城府東區 洗心館 電話一九四番

會席御料理
石明
町上村府邸大

新町遊廓
組員合一

式一品厨附和原雜辛皮洋和
所造製革皮加
元寶順子一ムロク印人軍
店商邸太貞村北商易貨
目丁一通門大南城京
(10)略電番七話電

警務局高野警察課長
 白上祐吉氏(三)
 不逞鮮人一派が鬼の様に恐れてゐる白上警察課長は暗格は細いが腕力の雄はつたキビク
 衆教授ミして渡鮮し、四十三
 十月總府府醫院官に轉じ内
 區さして今日に至つた。有數
 露手として令昭高しが熱心なる
 助家として知られて居る。



氏郎次勝江中 氏枝柳川瀨 氏吉連安森 氏溪梅城古 氏祐吉上白 氏潔戸瀨 氏磨逸木高 氏郎太勝林小

氏 潔 戸 瀬 氏 磨 逸 木 高 氏 郎 太 勝 林 小

立派な刀鎧家である。新様のお氣遣ひは、
氣遣ひは問へば「僕に氣遣ひは三問へば、それはない事
だけ三言ふのか、それはない事
が氣遣ひは兎角不平に譲られ易
い、大にメットを上げた
し、餘り胸に乗つて喋り過ぎ
り飛んだ尻尾を揺られたらネ
り降りが出来たらネ」
終つて僕に言はしむればすね
な。城も朝陽の首都である以上
唯一の總督府邸であるのに
てゐる。謂には「くまひ」

へすれば一時に寵所の疾病、或
 外に纏へて貰へる便宜がある。一
 人々や聲では言はれない。醫者
 は厭でないから自分から出て
 外は餘り信用は出来ない。僕は
 此來蘭式の中央病院で、その
 の一問題として京都に提出し
 い希望を有つてゐる……中絶
 す。果して夫が實現されて了全京
 府の醫師が斷然し、總府醫院に
 控つた、イヤより上への大規
 模の共同診療所を以て強めて
 デモクラシに患者を取扱つた
 人々の享ける便宜は蓋し幾何
 倍である。

「私は東京の帝大醫科を出て、
 東京病院に呼んで居る。昨年
 二月、貴院へ來たので、期間

語にもある如に様々な恰好
 しうウツ／＼覗いて居た。何
 した彼等には卒も澤山、愛
 想に見え。

「醫者と猿とは
 接觸が無い
 猿も中々高價
 になつた」

總府醫院醫官

高木逸郎氏に

身も
 技倆も進歩し 翌先には
 便且し一掌兩得とは真に此
 世で。聊か困るのは皮肉の足
 りない。先生達で居るが、何うで
 す。面白い評述じやありませんか
 が。まあ若し其處が今に遭遇した
 ら此處醫院なんかオツ。抛棄出
 て丁度酒に駆け附けますヨ。

若々しい気分
 を遇へて

下野動物園の研究
 を熱心に続けてゐる

朝鮮の蟹に肺
 チストマは無い

理學博士
 小林晴次郎氏

總督府醫院は從來警官のみで
 後醫師は置かれてゐなかつたが
 が小林晴次郎氏を觀察科に迎へ

從事し 生命に疲れまし
 ぶたが燃え尽するかせめうちに
 夏も暑く酸胃の出来て弱けれど
 今夏は胃毒に用ゐられて居
 のは唯動物試驗に限られ
 居ますね。後、御承知の如く最

人間 近日動物だけに

今年 は申盡だから何かが
 だに因ふを話をしてる。被仰る
 三は除却。圖がありませぬ
 よく證には猿の牛肝が什麼

黒焼 が何の藥になるな
 云ふ如き話もありますが、夫
 は單に俗説に止つて實際には

然せば「居らんやうで」

[illegible]

<p>電話三三八號 近藤貴下堂藥房 新嘉坡大馬路七二六號</p>	<p>謹賀新年 土庫建築 諸員鑒 山口 簡 電話一〇二番</p>	<p>謹賀新年 新嘉坡亞里街通五丁目 寶易通 精來樂業 電話二一八九番七〇番 電話二一八九番七〇番 振興口街通一四四五番</p>	<p>謹賀新年 株式會社 新義州銀行 新義州本町 電話五〇番</p>
--	---	---	---

<p>謹賀新年</p> <p>安東縣大和橋丁目電話八八番 木材及 鑄鐵等雜貨町一番 建築材 松村洋行支店 糧食 京城町九番七番 糧食 松村洋行支店</p>	<p>謹賀新年</p> <p>安東縣 新橋町一丁目 委託貿易 株式會社 並委託業 新義興貿易</p>	<p>謹賀新年</p> <p>安東縣 一郡三丁目 製材 大正木 材會社 木材販賣 電話四〇五番 本社 電話六二番 專務取締役 松村 六二</p>	<p>謹賀新年</p> <p>安東縣 番町四丁目 青葉土 事務所</p>	<p>新義興 松尾規矩郎 外 一同</p>
--	---	---	---	------------------------------------

[illegible]

大正六年四月九日
電話六四九番

謹賀新年

ライオンキヤメル販賣元
砂糖麥粉
直輸入
德永商會
京城水標町(電話一二七三番)

謹賀新年

謹賀新年

大邱府元町一丁目

鎌田材木店

店主 鎌田 庄太郎

謹賀新年

京城太平通

日本醬油株式會社

京城出張所

電話二四五番

謹賀新年

和善文房具

京城本町貳丁目

町田商

電話長一七五番

町田新聞部

電話長當二六番

賀正



外飽と實質と一致する
華社謹製煙草は
厚き信用と
多大の讚辞を以て
愛煙家各位に歡迎す。

東亞煙草株式會社

品の好い中にも柔し味の籠

其四

月 四 二
 月 六
 去 薨 官 田 竹
 支 那 名 優 梅 蘭 芳 の 來 訪
 手 和 條 約
 締 結
 月 六 二
 狼 殺 手 さ る
 三 交 渉
 十 年 記
 東 京 十 年 記
 後 半 十 年 記

布施知足

御前には、藤原公季年王、王位殊異なるを聞き、當時に於
 ける年十五に及び、荒勢の勢を授く毎夜逃去して遠く遊
 王、男十五人にその王の守らしむに、藤原公季、西
 して、越前山に去り、衆を率ゐて、遊む、勇士林に伏し
 て、鬼衆を窺ふ中に、其勢の西遊を聞けば、各散り、部々亦
 離るる勢を以て來奔す。其隙を以て、王は、鬼
 を頻して遊ばせ、偏なる平順に終り、王曰く、然らば、鬼
 を鬼として、橋本五平の北嶺に成さしめ、よる御動を
 見れば、其能くて石を離らし、しめ、木を一夜に成す。故に鬼
 橋と名づく云々。三國遺事

一の幕
宮廷服の室
真平太王、王妃、老女一名
侍女數名
妃。申上り難きには御座ります
されど皇子此所の御所持心元な
す
王。心元ないとは、はて、それ
や又このやうな……
妃。さあ何用あり何處へ往か
れせられますやら猶た餘に御
遊び歩け。
王。微行、こゝ、皇女自身し
て、それが分りまして往先……
妃。それが分りませぬやござ
ります。
主。ありさて附件をせぬやござ
ります。それゆゑに云ふ
の善も皆る。其善は如何歟
は。是れ皇太子は誰かのかのやうに
した。其處につき表方の善も内
々訴へ出でましたる第一一通り
お聞き取り下さりませ。皇子御
歳十五にならせられまじたま
なり。毎夜寝られぬれば骨より
御姿を消し給ひ御附添ひの者
を蘇かし給ひしと數十騎御行方
にて更に分ちねば老臣共相繼ぐ
の間に出入し奉らざるご致せい
し。皇太子は幸にも給はず十二
に盡きたるもの城廻り給ひ何處
に如何なる遊びをかしたるやら
ん。近く又も或門を堀廻つて
宮に還り入らせ給ふ餘りの暇
を以て御殿の者を蒙れをなしし
分を
てもし……い、市中際邊の
番は如何哉。了、隠し申付け
て早速に調へさせい。
老女。畏まりましたござります
老女連馬。王。后妃や侍女の
心を引く事や、其様にし
て心得を用ひたるは、彼
が異國の生計。職平太王の
亡靈が桃花女を通じて出来た倅
やござら。十五云へば早や
一人前。彼奴何を患ふる余が
より。より。一男。余が直々
に明わけくらう、して往先
斧止めたらそつと隠れて余が

三の幕
 神元院座
 堀の大將四郎 寄旗藤多
 皇子
 一七日の開宴今日で機り
 ちや、何にても問へ答へくれよ
 皇子
 昔の諸將賢士は皆何の人の勢へやい戦に付けたる御共、己は戦
 より一足も踏出ぬ振舞、他人切ちや開戦ぢや、一隊合するが首
 の勢へやい戦に付けたる御共、何の勢へやい戦に付けたる御共、己は戦
 のやうに、誰かを敵に付けたる御共、何の勢へやい戦に付けたる御共、己は戦
 や阿呆に付けたる御共、何の勢へやい戦に付けたる御共、己は戦
 それを吾物に付けたる御共、何の勢へやい戦に付けたる御共、己は戦
 附けよと云ふ事を上り、今傳へられたる御共、何の勢へやい戦に付けたる御共、己は戦

王爺門前、半竿の光景
王親賢戚の姿、同じ
じ参る軍は五十人前に
躍まる

王「よいかけるを御始められぬ
王「やう氣をつて、御遊の音から
の報告ある上神元子の住持から
密々の内許もある。夜毎、毎晝
子は神元子へ、鬼面をして遊
びに参りて居る」

一の鬼。此奴がく此間から口
賢い、何を奪つても強固我慢の
地張一點、今日こそ困るな
皇子。何困らう、さあ問へ、問
は彼でござい

一の鬼。待て／＼先日からの腹
子を見るに、此妖惑に智慧が廻つ
て、此方が何か問はうとする早
や、此方の心中を見透して其真偽
教へを憚りもなく

一の鬼。此奴がく昔の聖の御
から、當惑共迷惑ふを皇子猶追は
んする。

王「醒れ事所より走り出て
王皇子、
王太子一同を合せて
車馬、姑く、姑く、
止める。皇子搬送る。
皇子。や父君か。
皇太子歩み寄る。王我を失へる

[illegible]

猿丸太夫(二)
銀丸太夫と云ふ名は、百人一首
てお娘の句だ、栗山に紅葉
踏八分けと云ふ、雲つて閑寂
な歌を詠てるが、そもそ
もいつ頃の人間で、何處で生れ
日本歴史のいかにある件事を
感じてるか、こいふ問を受け
るに、スダに答るに躊躇する
だらう、猿丸太夫、おかしな名



七月

其の二

大正年史

gom.

板垣伯
薨去

九月

一日より總督府諸官廳等
の制服廃止さる



或は肩鉞の警備の事だ、こいふ人もある。猿矢といふは猿さといふ意味で、すなはち猿太夫といひふ事だ。猿太夫一組太の身を以て、君臣を敬り、主君の位にまでも昇進した。所謂猿太として冠する者だ。そこで猿の太夫さぶつたのだ。末路あやのやうなこゝこになり、且つ藤西氏の全盛時代に振はれた歌に、猿太

八月
一日大野球戦
大慶
軍大慶
新軍
全大

八月十一日 親任
青森新總督
水野新駐日總監

九月二日
有内門驛
頭に於て
新總督に
爆弾を
投ず
十月三日
幸内伯樂去

いふ名を明記するといはれるのだ、猿丸大夫といふ名を用ゐるものだが、さまじくやかに説明する筈もあるが、さうもその誤は跡に落ちない、
こころが最前將軍に、説いて有る所を見る、猿丸大夫は月御に創だが、實録に無い、月御に創汪だが、さう述べてゐる。田原天皇と尊徳大臣の間に藤戸皇子生れ、次に山背大兄王、

京勝城才
十月七日
仁川入港

旧獨逸艦
男界大建田

悪性感冒再々
大漫遊を極む

拾二月

その月、王の註に「獵丸未定」
賜す」と明記してある。
ところがこの月、國王も二人おは
さうに惡はなずあつたが、マ
ズヤの第五王位國王と大尉
女との間に生れた方も月郎皇子
云つたやうだ。さアうなれ
ば、明記してある。

[illegible]

謹賀新年

營業科目
金銀 赤金 赤銀 赤銅
雜貨 萬年彩 間色 假寶
國產 製造 進貨 買貨

京城府漢江通六番地(三角地)
朝鮮參絲會社
株式會社

[illegible]

謹賀新年

錦糸布 綿糸布 賀儀

京城長谷町廿九

鬼頭京城支店

電話長一七三番

器械部 電話長一〇六番

謹賀新年

謹賀
建築材料部
京坂黃金町 丁目百十三番地
電話一八九番

內外興業株式會社
京城出張所
京城長谷川町百十六番地
電話一五四三番

新年
自動東部

謹賀新年

京城本町一丁目
金物商 佐野彦藏

電話一六三番 振替京城二〇番
▲千代田火災保險株式會社代理店▲
▲千代田生命保險相互會社代理店▲

謹賀新年

胡歸德督府買捌 合名
 京城大漢門前
 官報諸新聞
 會社
 盛文堂
 電話四二六番
 龍山驛前
 盛文堂支店
 電話四一四番
 謹賀新年

改築落成
出前は迅速に御用命に可應候

支那御料理
高等

京城長谷川町

金谷園

電話二五二五番

謹賀新年

安東縣六道溝

合資
會社
南滿洲製材公司

謹賀新年

株
式
會社

安東銀行

振新堂三番、六四番
振興京城三六五四番
振發大連七四番
營業用
電話七番

舊市街出張所

支店所在地
奉天縣城內、撫順縣城內、長春府有之

電話八四番

謹賀新年

大連市龍田町ノ臨九號地

明治公債株式會社滿洲支店

支部、出張所は滿洲各地支所にあり

牧田富太郎金輪加町抄中

謹賀新年

株式會社
滿洲商業銀行

振興支店 電話二六八番
天津支店 電話一八三番
大連支店 電話四六番
奉天支店 電話五五番
吉林支店 電話二三番
本溪湖支店 電話四二番

謹賀新年

大藏大臣
東京京橋區日吉町十二番地
大連市西公園町一丁目十號地

支那會社

滿洲支店

支部長 杉井彦太郎
兼總司理 大連二七〇番地

謹賀新年

本店 安東縣江岸通一千目 電話 二七〇四番

營業原木製材
樂製炭伐採
目保 管

支店 奉天西塔大街三千目 電話 四四六番
大連 山縣通り

東亞木材興業株式會社

大連市三河町
日本生命保險株式會社
石田敏太郎
電話二九八一番

溫泉旅館
安奉線五闕背
五
龍
背

謹賀新年

新義州株式會社

本社 新義州 電話三九

謹賀新年
 南滿洲安東縣
 鴨綠江製紙株式會社
 謹賀新年

安東貿易株式會社
安東縣三番通五丁目
取締役社長 金虎
取締役 張職
電話 二九三
安東信託公所仲賣人
謹賀新年

安東縣復興通
住吉軍八商店
電話 一一二

謹賀新年

安東信託公所仲買人
安東縣五番通九丁目
齊藤進商店

謹賀新年

安東驛前

安東ホテ

主任 船津房

電話一七八

謹賀新年
海陸運送、コークス販賣業
安東縣江岸町二丁目
本店 今成組
電話一五九
電略二一五
三菱御用運送並に請負業
柳餅 兼二浦
今成組支店
未建業請負業
滿洲鞍山縣附近

謹賀新年

本木製材製造販賣業
新義州福川町

新義州製函會

專務取締役 唐津 龍

謹賀新年

安東電氣會社

湖州鐵道株式會社

寺田斗壇

[illegible]

懸賞字探し

この猿の繪の中に何といふ文字かくしてあるか當て、御覽なさい。抽籤の結果正解者常々二十人ほどには數が溢れ上ります。客数は過世にかゝりて、一月十五日までに本館へ届くやうにお目しよ。 近頃よく「お猿」を口にするので、字探し盛りの。

A black and white illustration of a monkey-like character with a large, ornate collar, looking down with a somber expression. The character has a large, expressive face with a prominent nose and a small, downturned mouth. The collar is highly detailed with floral and geometric patterns. The character's body is simple, with a long tail visible behind them. The background consists of horizontal lines, suggesting a ground surface.



器具の狼藉した

少年『猿』のほなし

[illegible]

二二三 橋であるが、何となく
も、険阻な谷の上の事で橋を架
ける工夫がない。さいつて橋は

是非なくてはならぬのであるから、附近の者は非常に困つて苦つた。そこでこの日の事、一人の獵師が此の谷の村に通りかゝり、無数の狼が住まひ替へて居るを見て、此方の山から河ふの山へ歸らうとしてゐる▲獵師は彼を呼んで、其の様子を見てみるさ、狼は高立木を頼りに肩へくゞ乗つ

物の起り

明治二十三年十一月始めて馬場に開かる。



懸賞字探し


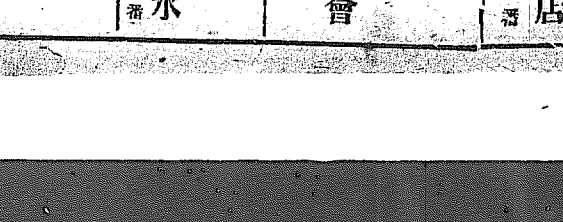
くやうにお目しなう。 近名よ 上ます。答奉は端書にかいて、一月十五日までに本館へ届

[illegible]

A decorative horizontal border featuring stylized pine branches. Above the border, labels in Chinese characters are positioned over the grid cells: '店番番番' (top left), '番所' (top left-center), '場平郎' (top center), '番所' (top right-center), and '社番番番' (top right). The border itself is a thin line with small pine branches and a wavy line running through it.

電話八九八番

番店番店番店



店	店	店	店	店	店	店	店
---	---	---	---	---	---	---	---

會 水 滸

THE HISTORY OF THE UNITED STATES
BY J. M. SMITH

謹賀新年

群山商友會

群山印刷株式會社

取組役員 中尾 正一

佐瀬直衛

邱安自動車部

村込大邱支店

群山自働車商會

内田六郎商店

中野滋

丸三合資會社

大正商會

雞林農林株式會社

田原稔商店

光州酒造株式會社

光州棉業株式會社

中華煙公司

朝鮮繩吹株式會社

境氏家參醫院

長春運輸株式會社

光州棉業株式會社

長春取引所信託株式會社

小原為

野村商會

中島金山支店

大野商會

金乘先本店

金乘先支店

青見洋行金山本店

青見洋行京城支店

福井好七京城支店

瀧川銃砲自轉車店

白上商店

泰復商會

長春松茂洋行

山口運輸株式會社

長春支店

笠井洋行

滿洲木材株式會社

金堤米穀商組合

大浦善七商店

大正起業株式會社

大田電氣株式會社

東洋畜産株式會社

大田出張所

南友商會

日清ホテル

大江樓

